

実践力向上研修セレクト型 講義内容

講義群Ⅻ 各分野で活躍する心理職の仕事を知る 【7講義】

研修講義設定の観点	講義形式
I 心理職としての倫理感・基本姿勢	◎ 講師1名による講義
II 人間の生活基盤に関する理解	○ 複数名講師による講義
III 多職種との連携・協働	△ インタビュー・対談講義
IV 全人的・包括的アセスメント	□ シンポジウム講義
V 内省的な支援の実践	

研修No	研修課題	観点	研修内容	研修講師	講義形式	講義時間
C-12-1	保健医療分野で活躍する心理職の仕事を知る【病院・腫瘍精神科】	I ○ II ○ III ○ IV ○ V ○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、多様で幅広い心理師の役割やその業務についての理解を深める。本研修では、病院における心理職の実務を考える。がん患者本人のケアから家族のケアまで幅広いサポートを心理の立場で実践している現場の話を聴く。患者とのさまざまなやりとりから、患者の心理のみならず、そこで講師が考えてきたことを学ぶことができる。さらに、精神腫瘍科の医療現場における基礎的理解を踏まえ、コンサルテーション等の実践例を挙げて、がん治療における心理臨床について具体的に学ぶことができる。	厚坊 浩史(公益財団法人がん研究会有明病院、主任公認心理師)	◎	40分
C-12-2	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【就労継続支援B型作業所】	I ○ II ○ III ○ IV ○ V ○	先駆的な仕事から学び、多様で幅広い心理師の役割やその業務についての理解を深める。本研修では、精神障害のある若者に幅広く支援を展開している心理職の実践を聴く。講師は作業所の運営とともに、作業所と企業間のコーディネート、利用者への情報提供、地域ネットワークでの活動等、多様な業務を展開している。全ては当事者との相談に端を発し、支援の必要性から利用者のニーズに即して展開してきたものである。事業を通じて、精神障害者の暮らしを具体的にサポートするばかりでなく、サポート自体が当事者の心理的な支援に繋がっていくことが分かるだろう。	進藤 義夫(NPO法人 障害者支援情報センター、理事長)	◎	38分
C-12-3	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【児童養護施設】(1)	I ○ II ○ III ○ IV ○ V ○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、心理師の役割やその業務への理解を深める。講師は児童養護施設に心理職が配属されるようになり間もない頃から児童養護施設で働いてきた草分けの心理職である。施設職員として働く心理職として、施設が子どもへのよりよい養育を提供できるように、養育の中心であるケアワーカーと共にどのように働いていくことが必要であるのか、さらに心理職は施設内でどのような役割を担うことが求められているのかについて、講師の当初からの長い経験とその中で考えてきたことの変遷を通して学ぶ。	古谷 みどり(社会福祉法人 光の子どもの家、心理士)	◎	36分
C-12-4	福祉分野で活躍する心理職の仕事を知る【児童養護施設】(2)	I ○ II ○ III ○ IV ○ V ○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、心理師の役割やその業務についての理解を深める。本研修では、児童養護施設の心理職として、何に悩み、葛藤してきたか、それを自身の仕事の中でどのように捉え直し、答えを見つけてきたのか、について話を聴く。また、施設内の危機的な状況を多職種職員との協力のもと再構築してきた話題もある。チームとしての取組の中で心理職として果たした役割についても考えてみたい。施設で働く者のみならず、多様な職場で働く心理職としての悩みや迷いにどのように向き合えば良いのかという基本的なスタンスを考えるヒントになるであろう。	綱島 庸祐(社会福祉法人 鹿深の家、心理士)	◎	48分
C-12-5	教育分野で活躍する心理職の仕事を知る【特別支援学校】	I ○ II ○ III ○ IV ○ V ○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、多様で幅広い心理師の役割やその業務についての理解を深める。本研修では神奈川県教育委員会の取組として特別支援学校で教諭職として採用されSCの業務を行っている取組を紹介する。一つは特別支援学校におけるSC配属が児童・生徒の学校生活にもたらす意味と可能性について、もう一つは、学校で心理専門職がフルタイムで勤務することによる可能性について、この2つの点が新たな働き方を考える機会となるだろう。	林 大介(神奈川県立相模原支援学校、教諭・臨床心理士)	◎	36分

実践力向上研修セレクト型 講義内容

講義群Ⅻつづき 各分野で活躍する心理職の仕事を知る 【7講義】

研修講義設定の観点	講義形式
I 心理職としての倫理感・基本姿勢	◎ 講師1名による講義
II 人間の生活基盤に関する理解	○ 複数名講師による講義
III 多職種との連携・協働	△ インタビュー・対談講義
IV 全人的・包括的アセスメント	□ シンポジウム講義
V 内省的な支援の実践	

研修No	研修課題	観点		研修内容	研修講師	講義形式	講義時間
C-12-6	産業・労働分野で活躍する心理職の仕事を知る【一般企業・人事部】	I	○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、心理師の役割と業務への理解を深める。ここでは心理職としての知見を会社での企業活動にどのように活かしていくのかという点を考えてみたい。講師は心理職としての勤務を経て、企業人事部に所属して心理専門職として働いている。主に従事する相談業務ばかりでなく、企業のメンタルヘルスに関わる多様な取組として展開している。企業の基本的な考え方と、臨床心理学的なスタンスとを融合させ、企業において具体的な支援の取組に繋げてゆく模索や工夫について話を聴く。企業内における心理職の活躍の可能性について新たな視点が提供されるであろう。	藤本 航平(住友電気工業株式会社 人事部)	◎	42分
		II	○				
		III	○				
		IV	○				
		V	○				
C-12-7	産業・労働分野で活躍する心理職の仕事を知る【心理カウンセリング/人事コンサルティング会社運営】	I	○	先駆的な仕事を行ってきた講師の経験や仕事に対する考えから学び、多様で幅広い心理師の役割やその業務についての理解を深める。ここでは産業・労働分野における心理職の実務を考える。講師は当初の会社勤めの経験から社員を支えることの大切さに気づき、様々な資格の取得とともに、臨床心理を学ぶに至る。その経緯を聴き、心理特有の業務にとらわれない広い視点での仕事の展開を知る。また、ハラスメント対策についてのこれまでの取組、経営者としての実績も参考になり、キャリア形成としての学びにもつながるであろう。	涌井 美和子(合同会社オフィスプリズム、代表)	◎	40分
		II	○				
		III	○				
		IV	○				
		V	○				